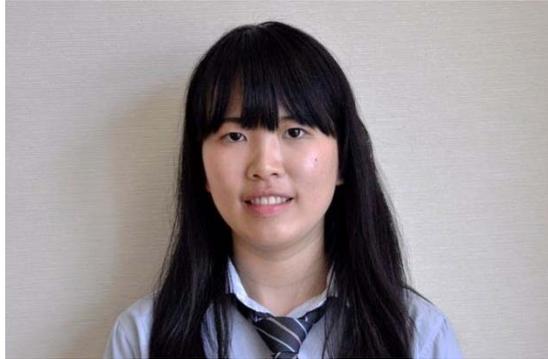


発表者11

川端 花蓮



● 出身・ルーツ

ベトナム

● 日本に来たのはいつ？

2011年7月

● 日本語を勉強している期間は？

3年

● 発表者コメント

スピーチ大会に出るのは初めてです。大勢の人の前で発表するのは緊張しますが、自分にチャンスを与える気持ちで心を開いてお話ししたいと思います。

● 推薦者コメント 【神奈川県立座間総合高校 丹羽 美紀 先生】

日本での生活にも慣れ、少しずつ積極的な姿勢が出てきたような気がします。今回のスピーチ大会を通して色々なことを考えたり、たくさんの人と触れ合うことで、新たな発見があれば良いと考えています。

スピーチタイトル 「家族」

今日は、みなさんに、私と私の家族について、お話ししたいと思います。

私は大和市のいちょう団地に住んでいます。

家族は6人で、両親と、弟が二人、妹が一人います。

上の弟は小学校6年生、妹は3年生、そして一番下の弟は2歳です。

でも彼らと私は血が半分しかつながっていません。母親が違うからです。

私の本当の母は、私を生んですぐに、私を残し、父と別れました。

ですから私は母の顔を知りません。

その後、父も日本へ行ってしまったので、私は12歳まで、ベトナムで父の姉に育てられました。しかし、叔母さん一家も経済的にゆとりがなく、そのままベトナムにいても明る

い将来は見えませんでした。それで、日本にいる父が私を日本へ連れてきました。

日本には、父の新しい家族がいました。義理の母と、幼い弟と妹です。

当時、私は12歳。

父と暮らしたいというより、自分の将来のことだけを考えると、日本へ来ました。

日本へ来るなり、いきなり次々と大変なことがありました。

新しい家族との生活、言葉もわからないし、自由もなくなりました。

1か月後に上飯田中学校に入学しましたが、日本語がわからないので学校での生活も大変でした。

まるで別世界に来てしまったようでした。

義理の弟と妹は日本で生まれたので、ベトナム語がほとんどわかりません。

私は日本語がわかりません。どうやって話そうか。。。

私は自分から積極的に弟たちに話しかけるようにしました。

義理の母とは言葉は通じましたが、まだ家族とは思えませんでした。

一緒に暮らしてはいるけれど、学校でも、家でも、一人ぼっちでした。

私が日本へ来てから3か月後、義理の母が妊娠しました。

母のおなかがだんだん大きくなっていくのを見て、大変だなあと、買い物へ行ったり、重い荷物を持ったりするのを手伝ってあげました。

次第に母も私を頼りにするようになりました。

いよいよ出産が始まったとき、母が陣痛で痛がっているのに、父は怖がって部屋に入れませんでした。でも、死ぬほどの痛さと闘っている女性のそばにだれもいないのはかわいそうです。

だから、私が付き添うことにしました。

母の痛さを体で感じることはできないけれど、女性同士、なんとなく気持ちが伝わりました。

母の手を握ったり、お腹をさすったりしながら、私は自分が生まれたときのことを想像しました。

「私のお母さんも、私を生む時、こんなに苦しかったのかな・・・」

二人の母の姿が重なり、私は心の中で、「おかあさん、私を生んでくれてありがとう」と言いました。

やっと男の子が生まれた時、この子が本当の弟のように思えました。

そして私ももう一度、生まれてきたような感じがしました。

そう感じたら、その人が私の母のように思えました。

母の出産に立ち会って以来、私の家族に対する気持ちが変わりました。

それまで仕方なくやっていた家の手伝いも、自然と心から手伝いたいと思うようになりました。

兄弟に対しても、本当の弟や妹だと思って面倒をみるようになりました。

ある日、5歳になった妹が、私に言いました。

「お姉ちゃん、彼氏作らないでね。結婚しないでね」

その言葉を聞いた時、私が誰かにとって大事な存在になったと思い、すごくうれしくなりました。

家族は同じ血が流れているから家族ではありません。

いろいろなことがあって、はじめて本当の家族になれるのだと思います。

この写真は、今の私の家族と親戚です。

みなベトナム人です。

今年の5月に、みんなで藤の花を見に行った時に、私が写しました。

2歳から42歳まで、全部で15人います。血が繋がっていてもいなくても、お互いに  
 いつか私も結婚したら、家族はもっと増えて心の支えになれる、それが私の家族です。  
 いくでしょう。

● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- 蚊の鳴くような声ではじまり心配しましたが、力強いスピーチに感動しました。これ  
 からも「家族」を大切に♡(みどり)
- お母さんの出産のときの様子、とてもよくわかりました。(山本)
- 本当の家族が出来て良かったですね。(栗城)
- いいお名前ですね。とても大変な生活を経験しましたね。他の高校生よりずっと大人で  
 すね。いい話を聞かせてもらいました。ありがとう。すてきな家族になりましたね。
- とても良い話でした。これからも家族を大切にしてください。(中村)
- 言葉も分からない場所にきて、何も分からない世界で日本語を頑張るために、家族をお  
 手伝いし、新しいきずなをつくったのが素晴らしいと思いました。(木村)
- 家族として心の絆が深まっていく様子は感動的です。よいお姉さんですね。(すとう)
- 家族というのはあたり前に存在するのではなく、「家族になる」という意味について思わ  
 ず考えてしまいました。家に帰ったら母に感謝します。(すすき)
- 日本で「明るい将来」が見つかるといいですね。かれんさんが頑張らなくてもよいと  
 ころや、頼みを断ってもよい相手を持ってください。
- とてもステキなスピーチでした。私もまったく同感です。
- あらためて家族とは？を考えさせられました。血とか色々ありますがお互いの事を思い  
 やれる事が大事ですね(木下)
- はなしをきいてかんどうしました！とってもよかった！これからがんばれ！(ナタリア)
- 大変な出産を助けて、本当のビッグファミリーができましたね。おめでとう(たかはし)
- 義母の出産に立ち会うことで絆が生まれ、本当の家族になれたのですね。感動しまし  
 た。特に自分を産んでくれた実母に感謝できたことはとても良かったです。(加藤)
- 1人ぼっちに感じてしまう時も立派に乗り越えて、今座間総合で一生涯懸命勉強し、友  
 達と楽しく過ごすあなたを誇りに思います。すてきな家族を見せていただき感動しまし  
 た。両親と兄弟を大切に、幸せに過ごしてください。(柴田)
- 家族の絆 実体験した貴女に感動しました。(下山)
- かわばたちゃん… とてもたいへんでしたね。。
- すてきな、素晴らしい経験をされましたね。素直で優しい心が花蓮さんのスピーチか  
 ら伝わってきました。これからも、ご自分と家族を大切にしてくださいね。
- 家族の絆を血が繋がっていても強く感じる事ができ、そう思えたこと、すば  
 らしいと思います。かれんさんもきっとステキな家族をきっと築かれることと思いま  
 す。(木村) (他メッセージ多数)